

車両トラクションテスター

【概要】

鉄道車両の力行・ブレーキ性能が簡便に測定できる総研ブランド品「車両トラクションテスター」が鉄道事業者やメーカー等で使われています。

このテスターは、走る・止まるにかかわる種々の性能測定と解析を可能とする装置です。今回、WINDOWS環境に合わせた「車両トラクションテスター」をリニューアルし商品化しました。

【特徴】

- ・ 車両性能試験作業の省力化や迅速化に貢献
- ・ 今まで測定チャートから手作業によって読み取っていた「空走時間（JIS規格準拠）」や距離ベースの「実平均減速度（同）」を自動算出
- ・ 汎用表計算ソフト（EXCEL等）を用いてグラフ化・解析が可能

車両トラクションテスター



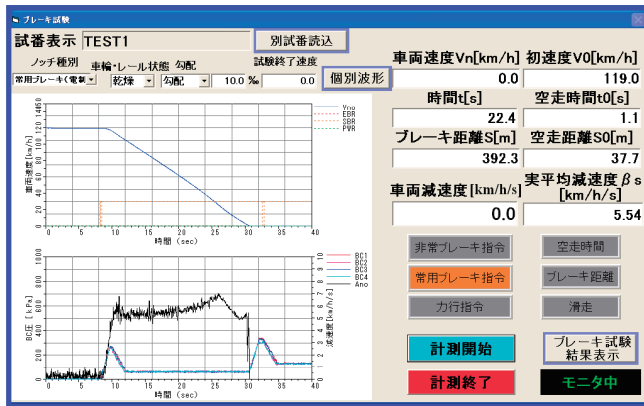
本体

計測制御用パソコン

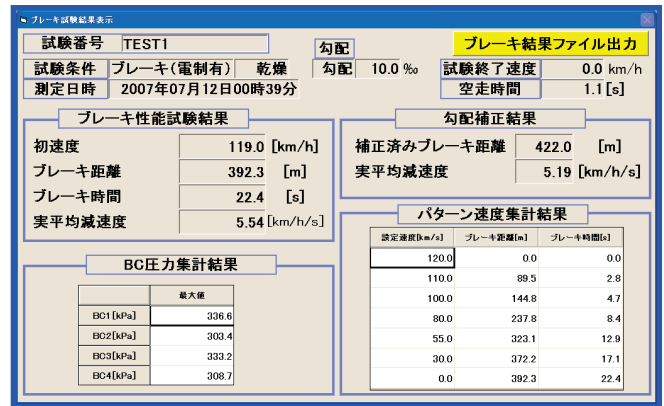
【用途】

- ・ 力行・ブレーキ性能測定（空転滑走再粘着制御性能等の解析）
- ・ 鉄道事業者殿、計測器レンタル会社殿の試験用途に合わせた、ハード・ソフトの仕様変更が可能

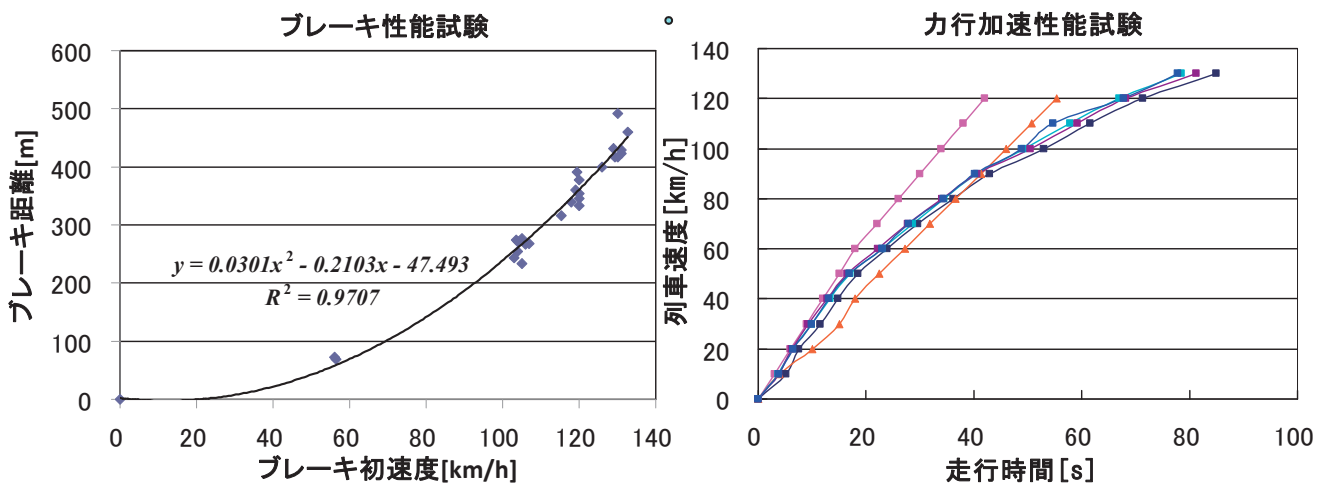
ブレーキ試験結果 (例)



モニタ画面 (例)



試験データ解析の一例



基本仕様

モニタ表示	パソコン画面	印刷	プリンタ
操作方法	キーボード入力及びマウス操作	データ保存	ノートパソコン (ハードディスク)
速度パルス入力(PG信号)	4ch(ch間絶縁) 周波数0.1~10kHz	寸法	本体 (500(W)×436(D)×316(H))
アナログ電圧入力 (AD)	16ch(ch間絶縁) ±10V	質量	23.5kg
ノッチ指令入力 (DI)	3ch(ch間絶縁)	消費電力	約100W